



天引村倶楽部
京都府南丹市園部町天引下北 3-1
tel:080-2416-7295
<https://amabikimura.com/>



天引紹介動画



天引活性化委員会



天引村倶楽部

天引は、南丹市園部町西部に位置する農村集落です。

少子高齢化が進み、活気が少なくなった地域の状況を変え、自由に発言できる場を通じて新しい取り組みを進めようと、住民全体が参加し、2012年に「天引区の活性化と未来を考える会」を設立し、月2回の「むくむく市」、「ほたるコンサート」など数多くのイベントを開催してきました。

このような活動が評価され、様々な賞を受賞してきました。

- 令和4年度「あたしたちの町・くらしづくり活動賞」内閣総理大臣賞
- 同年度「手づくり故郷(ふるさと)賞」審査員特別賞
- 令和7年度「地域再生大賞」優秀賞
- 同年度「南丹市政施行20周年記念」功労者

また、2022年11月1日には「天引村倶楽部」が設立され、

- 文化を受け継ぐ、歴史を受け継ぐ、技術を受け継ぐ
- コミュニティで繋がる、知らない人達と繋がる
- 小さなコミュニティで集まる、大きくなっていくコミュニティで集まる
- 知らない人達が小さなコミュニティになって、天引村に暮らす
- 暮らしが受け継がれて、いろんな人たちと繋がって、集まって、暮らしが始まる
- ずっと繋がっていききたい

をモットーに、茅葺き古民家を再生し、地域活動拠点として開放されています。

更に、2025年には、「天引村地域資源活用協議会」を設立し、活性化に向けた事業を展開しています。



2026年3月22日 むくむく市10周年の様子

2022年度は地域の活動拠点となる天引村倶楽部の建物改修の補助を行いました。

創建以来、度々の改修を重ね新建材に覆われていましたがこれらを撤去し、建立当初の姿に近づける復原改修が行われました。研究室では、土間の「叩き構法」復原作業、壁の整備、天井板張り付けなどを行いました。



2022年12月24日 土間叩きワークショップ



2023年3月4日 天井板塗装

天引の活性化に対する取り組み その2

天引村倶楽部 × 京都美術工芸大学 井上年和研究室

天引村倶楽部 復原考察 & 改修計画

2023



2023年5月7日 天引村倶楽部調査



2023年6月10日 ほたるコンサートで踊る学生たち



2024年2月27日 天引村倶楽部模型贈呈式

2023年度は、天引村倶楽部の建物調査を行い、建物の特徴や改修履歴等を明らかにするなど文化的価値を高めるとともに、これからの活用方法について提案しました。

その際には、調査内容についての報告会や天引の人たちとワークショップを行い、参加者から昔話をお聞きし地域の歴史や建物への理解を深め、活用方法についてのご意見をいただきながら形にしていきました。

そして、復原考察、活用提案の2つの模型を寄贈し、現在も展示していただいています。この模型は、来訪者などに非常に好評のようです。

模型ワークショップや模型の寄贈に関しては、京都新聞でも取り上げられました。

また、ほたるコンサートでは、会場整備、ダンスなどで盛り上げました。

南丹・天引村倶楽部 京都美術工芸大生が制作励む

南丹市園部町天引の古民家を改装した交流スペース「天引村倶楽部」の模型を、京都美術工芸大（京都市東山区）の学生2人が作っている。隅々まで寸法を測り、間取りを復元しながら20分の1で制作。木の骨組みがほぼ完成し、往時を知る住民からは改装前の構造や思い出を聞くなど「建築だけでなく生活が分かる模型にしたい」と意気込んでいる。



制作している古民家の模型を現地で住民に披露する奥野さん（右から2人目）と有川さん（同3人目）＝南丹市園部町天引・天引村倶楽部

古民家精巧復元に 生活匂う模型に



2024年3月5日 京都新聞

2023年10月23日 京都新聞

※ 文化財建造物等において建物に残る痕跡等から昔の姿を再現することを「復原」と書きます。

天引の活性化に対する取り組み その3

天引村倶楽部 × 京都美術工芸大学 井上年和研究室

天引の景観形成 ～道と川の変遷～

2024

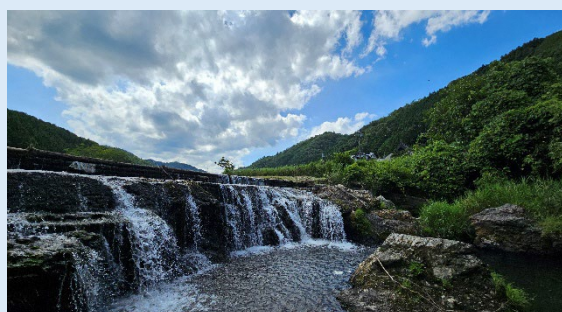
2024年度は、京都学歴彩館に所蔵されている古史料から、天引における道と川の改修過程、変遷について調査を行いました。

また、天引峠に登り江戸以前や近代に造成された道や橋の跡を発見しました。

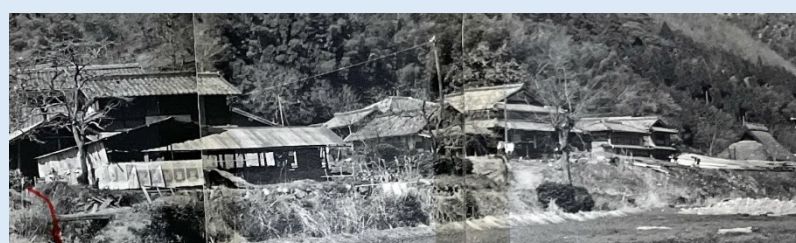
この調査により、天引は山間に位置していた街道が、車の発展により道路が整備され、河川も氾濫を防ぐために改修を受けていたことが明らかになりました。



現在の天引航空写真



園部川の堰堤



昭和45年頃の天引のまちなみ 京都学歴彩館所蔵



昭和初期以前の道、橋の跡



現在の天引のまちなみ



昭和10年頃に建設された道路と石垣



昭和5年 天引周辺推測地図



昭和10年 天引周辺推測地図

●天引峠の改築 ●篠山街道下の道路の新設



現在の天引周辺地図

●国道372線の新築、改築 ●国道トンネル開通
●るり溪方面の道路と橋の新設 ●天引峠の封鎖

天引の活性化に対する取り組み その4

天引村倶楽部 × 京都美術工芸大学 井上年和研究室

農泊計画 & まちなみ調査

2025

2025年度は、天引村倶楽部に隣接した空き家を天引の農泊（農山漁村滞在型旅行）」に改修するため計画を立てるためコンサルティング、建築士などと協議をしながら調査を行いました。

あわせて天引のまちなみ調査を行い、寺院や神社、薬師堂、民家などの連続立面図と模型を作成し、天引むくむく市10周年にあわせて寄贈しました。



寺院の調査



農泊計画建物の調査



コンサルさん建築士さんと協議



むくむく市10周年でまちなみ図面と模型を寄贈



まちなみの連続立面図

天引の活性化に対する取り組み その5

天引村倶楽部 × 京都美術工芸大学 井上年和研究室

天引薬師堂調査

2026

天引の象徴ともいえる薬師堂は経年劣化により茅葺きの屋根が傷み、修理が待ち望まれており、2023年度から住民とボランティアの手により屋根替え用のすすきの採取が行われてきました。

研究室ではこの茅刈りワークショップに2024年から参加し、今年度は建物の調査を行い、その特徴と歴史的・文化的価値を明らかにしようとしています。



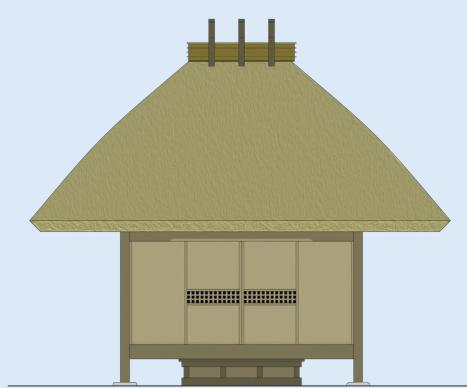
薬師堂実測調査メンバー



茅刈りワークショップ 2024/2/11



2026/2/15



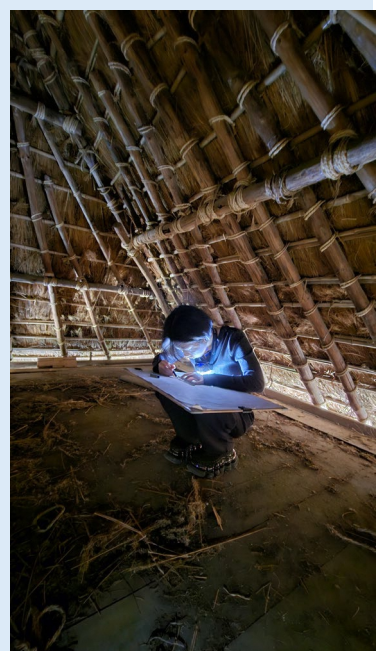
薬師堂 正面図



薬師堂ライトアップ



堂内の調査



小屋裏の調査